

ひなたぼっこ通信

2017年
7月号

宅幼老所から

「野菜の苗を植えました」



去年は上手く育てる事が出来ず終わってしまったので、今年は少し奮発していい苗を買ってみました。まずは買ってきた苗をみなさんにお見せすると

「これは野菜の苗だね！ナスとピーマンとトマトと、これは胡瓜だね」と言われ、周りの利用者の方も、そーだ！そーだ！うんうん！と言われ、先程まで眠むそうにされていた利用者の方の目も生き生きとした目になっていくのがよくわかりました。また他の利用者の方も「昔はさんざやった、やらなきゃ生きていけねえだもん」と言われていました。苗を植え、周りを土で固める手捌きからは、「昔はさんざやった」という事が伝わってきました。

今のところ、野菜は去年よりは上手く育てられています。水やりをサボっている日がよくあるのでこれからの課題です。まだ実がついているのは胡瓜だけです。他の野菜も元気そうです。今年は収穫できるかな。また報告したいと思います。

宅幼老所から

「紫陽花の花のアクト」

今月のアクトは紫陽花の花の貼り絵を行い、利用者の皆さまに紫陽花の花と葉っぱの形に細かくちぎった色紙を貼り付けていただきました。ピンク、紫、薄紫、青など様々の色で思い思いの紫陽花が出来上がりました。葉っぱの上には可愛らしくカタツムリも乗っています。模造紙の背景を黄色の絵具で塗って下さった方もいました。

てるてる坊主は、着物の衿に使う白い布に組み紐をしぼり、昔懐かしい「てるてる坊主の顔」を書いていただきました。みんなの力の合わさった大作です。出来上がった時は、「おー、きれいだね、すごいね」と歓声が上がりました。



「お誕生会」

宅幼老所では毎月合同で利用者様のお誕生会を開かせていただいておりますが、今月は3名の方のお祝いをさせていただきました。今年の4月からのプレゼントは、職員手作りのティッシュケ

ースです。生地はちりめん、中と外は別の生地を使っています。6月のお誕生日ケーキはロールケーキに生クリームを添え、シナモンをかけてみました。みなさまでお誕生日の歌を唄い、ろうそくの火を消していただいたら写真撮影！写真はその場で印刷してお渡ししており、「もうできたの！早いね〜！」「綺麗に撮れてるじゃん〜！」と喜んでいただきました。

ケアハウスから

「ハチマキをキリリ！」1階

6月22日、ケアハウスでは盛大な運動会が行われました。開始時刻前だというのに、各々、紅白のハチマキをキリリと締めて、気力いっぱい選手たちが勢ぞろいしました。

運動会が始まると、利用者の皆様は目をキラキラさせ、玉入れをし、また大玉送りなどに夢中になりました。大きな笑い声が飛び交い、その様子はまるで小学生のようでした。

新種目は「間違い探し」です。スタッフが一旦隠れ、大きな眼鏡や蝶ネクタイなどで登場しました。すると、頭の先から足の先まで、焦げ付くほどの熱い視線で探します。そして「めがね！」「ネクタイ！」などの声がこだましました。

あっという間に時間がたってしまいましたが、利用者様も職員も、ボランティアの方も、束の間の苦返りにワクワク！！ドキドキ！！

勝ち負けはともかく、皆さまの笑顔をいただき、とっても楽しく、幸せな一日でした。(M)



「健康で安心な介護」

ひなたぼっこ互助会では、職員の健康が安心安全な介護の大前提」のスローガンのもとに、職員に向けて「健康増進の取り組みを奨励しています。その取り組みに参加・挑戦して一年が経過。健康が

利用者さんへの安心・安全な介護だと実感している日々です。

私の取り組みは、スポーツクラブ通い、近くの里山トレーニング、そして毎朝のストレッチ体操でした。仕事帰りで疲れて休んだり、「ズク」が抜けて、さぼったりしたこともあったけれど、一年間続けることができました。

先日、体力試しで八ヶ岳（赤岳）に登ってきました。さすがに年を感じ、そして体力不足も感じた登山になりました。

今年度も同じ目標で健康増進に努め、「元氣と笑顔」の職員でありたいと願っています。(G)

直径1メートルを超す大きなバルーン！これが面白かったです。新聞にも載りました。



グループホーム

「たまには生演奏で歌を」2階

グループホーム2階では、最近新しいキーボードがやってきました。それを使い、スタッフの演奏で昔懐かしい歌をたくさん歌いました。おなじみの「ふるさと」をはじめ、「富士山」、「七つの子」など6〜7曲歌いました。演奏があると、いつもより声が大きくなるようで、とても盛り上がりました。機会があれば、外にもキーボードを持って行って、青空の下で歌うのも楽しそうですよね。お一人の利用者の方にとりだったか感想をお聞きしたところ、「演奏きれいだっただ。曲があると歌がもっと楽しいわ」と好評でした。

このキーボード、実はある職員の家で長らく眠っていたそうです。永い眠りから覚めて歌ったキーボードも、さぞかし嬉しかったことでしょう。

放課後等デイの準備室から

「地域に開かれ、地域に発信するクラブに」
4月・5月に保護者説明会を開いて、すいぶん多くの保護者の皆さんに参加をいただいたことは以前ご紹介しました。その後、これも多くの利用を希望する児童・生徒と保護者の皆さんが、面談にひなたぼっこを訪れてくださいました。9月開設の予定ですが、「それを心待ちにしています。」という声や「さらに、障害児の進路の取り組みも考えてほしい」などの期待の声が寄せられています。ありがたいことです。

その中で、一つ紹介したいことがあります。障害児に有意義な時間を提供するのがこの事業の大きな目的です。しかし、それに加えて「地域を耕す」ことも同時に大きな目的の一つです。

障害を持った子どもたちが、連れ立って買い物に出かけている姿、あるいはみんなでJRに乗ってお出かけている姿を想像してください。また、夏休みや春休みのある日、健康な子どもたちと障害を持った子どもたちが、一緒に何かに取り組んでいる姿を想像してみてください。ハンデを持った人達が社会の中で、共に生きてゆく、その小さな一歩を、ここからも始めたいと考えます。

発行 社会福祉法人ひなたぼっこ

理事長 森 正明

T 399 - 0211

富士見町富士見1-1650-1

TEL 0266 - 61 - 2335

FAX 0266 - 61 - 2336